

# 文芸

## 俳句

どの道を行くも坂道紅葉寺  
伊藤 敬子  
天高し耕す畑に猫の跡  
今関満喜子  
一枚のしがみ付く葉や秋惜しむ  
魚地 照子  
名月や池の端より鳥の声  
鹿子木小夜子  
枯葉散る音符のごとく風に舞い  
加瀬 俊昭  
等圧線いよよに冬の構へかな  
川島 通則  
木守柿二つ残して夫婦柿  
みよと  
向後 寛  
冬晴れて一望千里鳶の笛  
越川せつ子  
流水の曲り生かして菊の花  
小松 藤男  
屋根葺きの声大きくて天高し  
佐瀬 輝夫  
小春日や踵の減りし靴洗ふ  
椎名万里子  
着ぶくれて顔の小さき老婆かな  
鈴木とし子

天も地も人も限無く小春かな

土屋美枝子

喝の字を壁掛けにして冬に入る

土屋 義昭

からすうり二つ残して山の中

戸村 静華

紅葉のつつむ教会しずまれり

内藤 くに

小春日やわたし丸ごと空の下

西崎さち子

風立ちて焚火の音の太くなり

早川 勇

特異日の晴を上野へ文化の日

藤田 雅夫

## 短歌

忘れゆく言葉を辞書に引きており  
老いつつ学ぶことも多かり  
越川 義則  
老い二人さして会話のなき日頃  
必要限度の会話で足れり  
高梨 キヨ  
夕焼けを見る児等の目は輝きて  
教室内の騒めき消ゆる  
西山満里子  
ポランテアが化粧しくるるに励まされ  
ふれあいサロンに「まだいける」の声  
加瀬 弘子  
鴨の飛び来て止まる柿の枝の  
揺れに乗りつつその実啄む  
押尾 輝子  
花付けず終りし柏葉あじさいが  
晩秋その葉を紅葉したり  
浅野 榮子  
米寿祝の同級会はちゃん付けて  
呼び合ひジュースで乾杯をする  
青木 秀子  
降る雨を独り見てゐる昼下り  
高校生の孫の訪ひ来ぬ  
芹川 初子  
病む友を訪へば今日は玄関に  
出で来てくれたり笑顔を見せて  
田崎 尚美  
鳥羽に来て宿の庭の木の間より  
スーパームーンの光を仰ぎぬ  
水須 俊  
返り咲く白きつつじの花の上  
オンブバッタも雨に濡れをり  
鈴木まさ子  
栗山川の遊歩道駆ける小学生  
赤白帽子がはなてゆくがに  
椎名美枝子  
名木と世に知られたる山武杉  
今年も見むと尋ね来にけり  
斉藤つね子

## 作品展

### ◎町民会館ミニギャラリー

- 1月 水墨画クラブ
- 2月 木目込みクラブ

### ◎文化会館ロビー展

- 1月 横芝写真クラブ
- 2月 陶芸クラブ

### ◎銚子商工信用組合展

- 1月 華舟会
- 2月 アート押し花クラブ



## ●町民ギャラリー●

### ◎企画展 町収蔵の生活用具(民具)と農具展

町では、これまでに町民の方から寄贈していただいた生活用具(民具)や農具を、多数収蔵しています。多くは、明治時代からつい最近まで日常生活で使われていたミシンやアイロン、着物を作るための糸紡ぎ車や糸巻器などで、その他にも犁や鍬、揚水車や草掻き機、田下駄などの農具など様々なものがあります。

昔使われていた道具をご覧いただき、今よりも大変だった過去の生活の様子に、ぜひふれてみてください。

とき 1月14日(土)～3月20日(月・祝)

午前9時30分～午後5時30分

ところ 図書館2階町民ギャラリー

問 社会文化課生涯学習班 ☎84-1358

